



# うさぎぐみだより

認定こども園 新宿ベアーズ

2020年11月1日

おたより担当：

朝晩は冷え込み、日中は過ごしやすい気候になってきました。散歩に出かけると、木の枝や落ち葉、そして、ドングリやハナミズキの実を探して捨う子どもたちの姿が見られます。これからどんどん落ち葉が増え、たっぷり遊べるかな…と楽しみにしています。

## <11月の予定>

5日(木) 身体測定    10日(火) 避難訓練

## <11月のお祝い>

- ごっこ遊びの中で、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。
- 秋の自然に親しみながら、探索活動を楽しむ。

## おばけなんてないさ！

「オバケ」が大好きな子どもたち。♪おばけなんてないさ♪を歌い始めると一緒に歌い始めます。散歩道には、ハロウィンのオバケやジャックオアランタンの装飾をしたお店も見られるので、うさぎ組でもおばけやジャックオアランタンの製作をしました。目や口、リボンや帽子…実際に自分の目や口はどこにあるか分かるけど…やってみると難しい！みんな真剣に考えながらパーツを貼っていましたよ。個性あふれる可愛いおばけたちが完成しました。

## ドングリ、み～つけた！

先日、ドングリバックを作って、新宿中央公園にドングリ拾いに行ってきた。定期的に清掃がされているので、落ちていたドングリは少ないのですが、ドングリを見つけると両手にいっぱい握りしめていました。そして、バックにドングリを入れるものの、拾ったドングリが気に入り、バックに手を入れたり、バックを逆さにして、ドングリを出したりして確認をしていました。せっかくのドングリは、コロコロ…転がっていきます。そのドングリを追いかけ、再び大切にバックの中へ。ドングリにたっぷり遊んでもらっていた子どもたちです。子どもたちの中には、銀杏の実を見つけたり、棒や落ち葉、土まで入れたりする子もいました。帰園するまでに、バックの中は空っぽ！なんていう子どももいて楽しめたようです。

## 型はめ(パズル)をやりたい！！

今、型はめ遊びが大人気です。しかし、型はめをする前に大きな難関が…それは、型はめが入っているケースのファスナーです。スムーズに開けられるようになってきている子どもいますが、まだ難しく苦戦中です。毎回「開けて！」と伝えてきます。そこで、すぐにファスナーを開けてあげるのではなく、一度、保育者が実際に開け閉めをやって見せて渡すと、真似をしてやろうとします。ケースを押さえずにやると、思うようにファスナーは開きません。そこで、左手で押さえることを伝え、手を添えながら一緒にやってみるとファスナーは開くのです。左手を添える…忘れがちになるけれど、しっかり添えられることで出来ることも増えます。例えば、ご飯の時に、食具でご飯を食べようとして、すくえなかったり、落としてしまったり…ちょっとしたことですが、しっかり遊びの中から身につけられたらな…と思っています。

また、先日お医者さんの型はめパズルが新たに加わりました。すると、型はめを楽しみながら、聴診器を自分に当ててみたり、お薬を飲んでみたり…しかし、注射は自分にはせず、嫌がる保育者やお友達にしてあげて、簡単なごっこ遊びが展開されはじめ、楽しむ姿が見られています。